

2022年11月2日

各 位

会 社 名 ザインエレクトロニクス株式会社
代表者の役職名 代表取締役社長 南 洋 一 郎
(スタンダード・コード番号：6769)
問い合わせ先 取締役総務部長 山本 武男
電 話 番 号 0 3 - 5 2 1 7 - 6 6 6 0

通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年8月4日に公表しました2022年12月期通期業績予想及び配当予想につきまして、下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正について

(1) 2022年12月期通期業績予想の修正 (2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,502	百万円 544	百万円 856	百万円 649	円 銭 60.03
今回発表予想 (B)	5,502	569	988	799	73.75
増減額 (B-A)	—	24	132	150	—
増減率 (%)	—	+4.6	+15.5	+23.1	—
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期)	4,441	485	698	727	67.32

(2) 修正の理由

当社は2024年度を目標年次とする中期経営戦略「5G & Beyond-NE」を推進しております。戦略5ゴールを設定し、それらを通じた成長により営業利益の3倍増を目標とし、さらに戦略5ゴールを超えた長期成長目標に向けたスマート・コネクティビティによるソリューションの提供に取り組んでおります。

当連結累計期間において、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響が継続する中、前期より引き続きLSI事業においては主に国内および中国・米国を中心とした海外市場向けの製品出荷が好調に推移した一方、AIOT事業においては中国上海地区のロックダウンの影響等により当初計画を下回る見込みとなりましたが、当第3四半期連結会計期間において通信モジュール製品の出荷増加傾向が見られ回復傾向にあります。これらの結果、当社グループ全体として連結売上高は当初計画を達成できる見込みであります。

一方、販売費及び一般管理費については研究開発活動を順調に進めつつ、コスト削減等を進めた結果、全体として削減できる見込みとなり、営業利益については当初見込みより改善される見込みとなりました。

また、経常利益および当期純利益については、為替が前期末比で大幅に円安が進行していることにより、主に現預金等の保有する外貨建資産の換算差益として当第3四半期連結累計期間において為替差益4億5百万円を計上しており、通期末時点においても当初見込より改善される見込みとなりました。

2. 配当予想の修正について

(1) 2022年12月期配当予想の修正（2022年1月1日～2022年12月31日）

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2022年2月7日公表)	円 銭 —	円 銭 12.00	円 銭 12.00
今回修正予想	—	15.00	15.00
当期実績	0.00	—	—
前期実績 (2021年12月期)	0.00	12.00	12.00

(2) 修正の理由

当社は、経営基盤の一層の強化と今後の積極的な事業展開に備えるために内部留保の充実を重視しておりますが、株主に対する積極的かつ安定的な利益還元策の実施も重要な経営課題と認識しており、業績動向、配当性向等を考慮して配当を実施する方針としております。当期におきましては、通期業績予想の修正という結果を踏まえ、2022年12月期の期末配当予想につきましては、1株当たり12円から3円増額し、15円に修正させて頂くことといたします。

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる場合があります。

以上